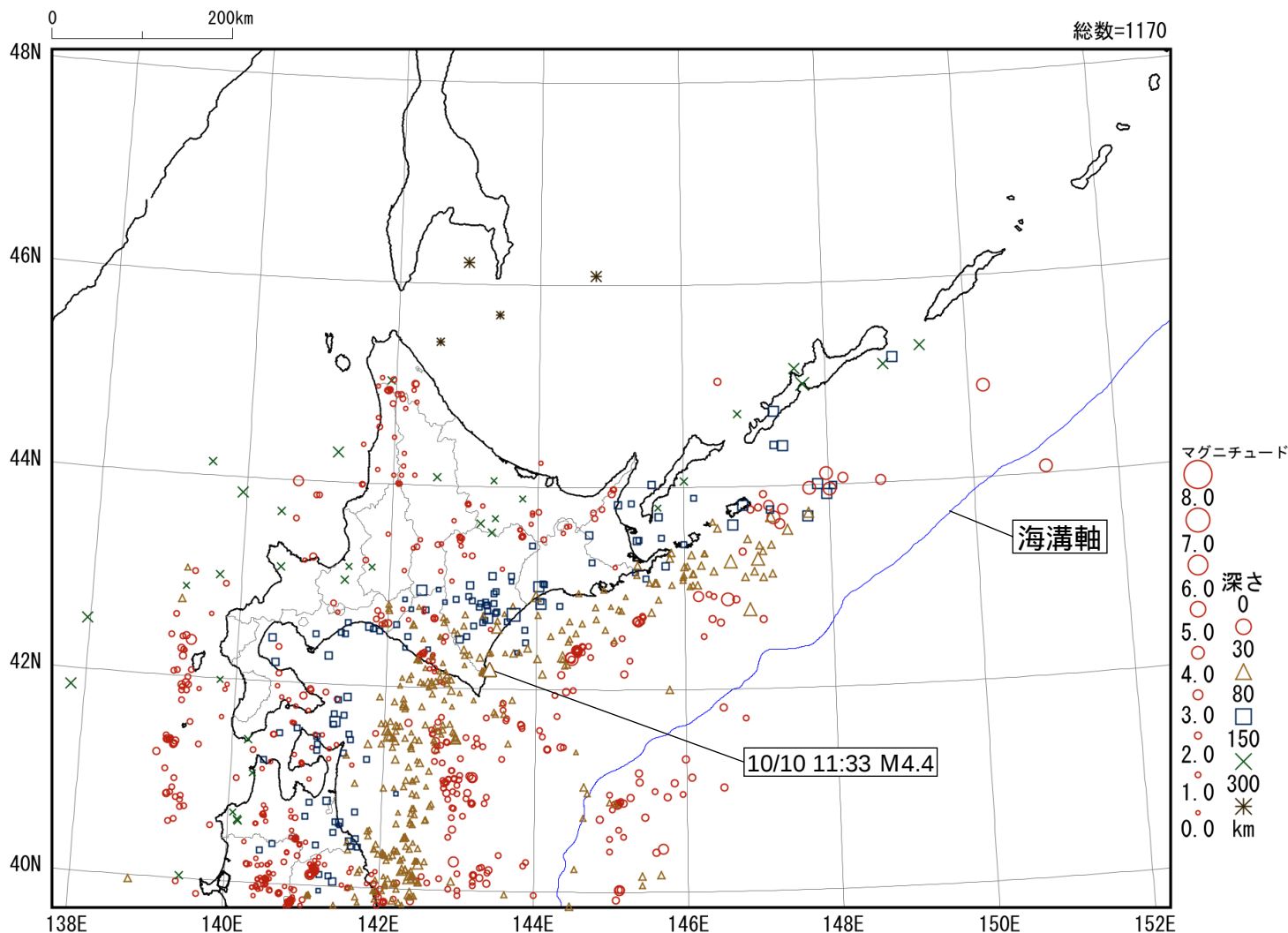


北海道の地震活動図

2024年10月1日～2024年10月31日

震央分布図

札幌管区気象台



地震概況（2024年10月）

この期間、北海道内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は16回（9月は16回）でした（「震度1以上を観測した地震の表」参照）。

10日11時33分、十勝沖の地震（M4.4、深さ41km）により、広尾町で震度3を観測したほか、十勝地方・日高地方・釧路地方で震度2～1を観測しました。

この活動図は、札幌管区気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake_report.html

この資料に関する問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課 TEL 011-611-6125

北海道で震度 1 以上を観測した地震の表 (2024年10月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
2024年10月 4日 十勝地方	05時20分 震度 1	十勝地方中部 豊頃町茂岩本町 * (05) 浦幌町桜町 * (12)	42 ° 42.0 ' N	143 ° 20.2 ' E	104 k m	M3.5
2024年10月 6日 釧路地方	19時06分 震度 1	釧路沖 標茶町塘路 * (05)	42 ° 18.2 ' N	144 ° 28.3 ' E	13 k m	M4.1
2024年10月 9日 渡島地方	17時28分 震度 1	渡島地方東部 函館市川汲町 * (10)	41 ° 52.2 ' N	140 ° 54.5 ' E	7 k m	M2.2
2024年10月10日 十勝地方	11時33分 震度 3 震度 2 震度 1	十勝沖 広尾町並木通 (25) 幕別町忠類錦町 * (15) 浦幌町桜町 * (22) 広尾町白樺通 (20) 幕別町忠類明和 (05) 豊頃町茂岩本町 * (10) 本別町北 2 丁目 (06) 本別町向陽町 * (05) 十勝大樹町東本通 * (13)	42 ° 11.2 ' N	143 ° 22.3 ' E	41 k m	M4.4
日高地方	震度 1	浦河町野深 (07) 浦河町潮見 (14) 浦河町築地 * (14) 様似町栄町 * (10) えりも町目黒 * (09)				
釧路地方	震度 1	白糠町西 1 条 * (05)				
2024年10月18日 渡島地方	13時38分 震度 2 震度 1 震度 1	岩手県沖 函館市泊町 * (18) 函館市新浜町 * (14) 函館市川汲町 * (05) 様似町栄町 * (06)	40 ° 07.9 ' N	142 ° 24.7 ' E	40 k m	M5.4
2024年10月19日 石狩地方 胆振地方	07時56分 震度 1 震度 1	上川地方南部 千歳市北栄 (05) 厚真町鹿沼 (07) 安平町追分柏が丘 * (06) むかわ町穂別 * (07)	42 ° 57.5 ' N	142 ° 26.1 ' E	112 k m	M3.6
2024年10月20日 根室地方	08時37分 震度 2 震度 1	根室半島南東沖 根室市瑤瑤瑁 * (16) 別海町常盤 (07) 別海町本別海 * (07) 根室市弥栄 (05) 根室市牧の内 * (05) 根室市厚床 * (12)	42 ° 53.2 ' N	146 ° 35.1 ' E	18 k m	M4.5
2024年10月20日 石狩地方 胆振地方	16時58分 震度 1 震度 1	胆振地方中東部 新千歳空港 (06) 厚真町鹿沼 (09) 安平町追分柏が丘 * (08)	42 ° 37.5 ' N	142 ° 00.1 ' E	28 k m	M2.9
2024年10月21日 十勝地方	12時12分 震度 1	釧路地方中南部 本別町向陽町 * (06) 浦幌町桜町 * (07)	42 ° 55.2 ' N	143 ° 58.8 ' E	78 k m	M3.3
2024年10月21日 日高地方	23時11分 震度 2 震度 1	十勝地方中部 えりも町目黒 * (17) 新ひだか町静内山手町 (08) 新ひだか町三石旭町 * (09) 浦河町野深 (07) 浦河町潮見 (10) 浦河町築地 * (12) 様似町栄町 * (09) えりも町えりも岬 * (06) 十勝池田町西 1 条 * (17) 豊頃町茂岩本町 * (22) 浦幌町桜町 * (23) 広尾町並木通 (18) 広尾町白樺通 (15) 新得町 2 条 * (11) 帯広市東 4 条 (08) 帯広市東 6 条 * (07) 十勝清水町南 4 条 (10) 芽室町東 2 条 * (10) 幕別町忠類明和 (06) 幕別町忠類錦町 * (12) 幕別町本町 * (14) 本別町北 2 丁目 (12) 本別町向陽町 * (14) 中札内村東 2 条 * (08) 更別村更別 * (11) 十勝大樹町東本通 * (11) 釧路市音別町中園 * (16) 釧路町別保 * (16) 厚岸町真栄 * (17) 弟子屈町弟子屈 * (07) 釧路市幸町 (08) 釧路市阿寒町中央 * (12) 厚岸町尾幌 (08) 浜中町茶内 * (14) 標茶町川上 * (06) 標茶町塘路 * (12) 鶴居村鶴居東 * (10) 白糠町西 1 条 * (10)	42 ° 44.3 ' N	143 ° 41.0 ' E	111 k m	M4.3
釧路地方	震度 2 震度 1	函館市泊町 * (08) 函館市新浜町 * (11) 別海町常盤 (10) 別海町本別海 * (06) 根室市厚床 * (12)				
渡島地方 根室地方	震度 1 震度 1					
2024年10月23日 渡島地方	17時11分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (07)	41 ° 30.2 ' N	142 ° 03.0 ' E	56 k m	M3.9
2024年10月25日 釧路地方	15時31分 震度 2 震度 1	根室半島南東沖 標茶町塘路 * (15) 弟子屈町弟子屈 * (07) 釧路市幸町 (06) 厚岸町尾幌 (05) 浜中町湯沸 (09) 浜中町茶内 * (14) 鶴居村鶴居東 * (07) 白糠町西 1 条 * (05) 中標津町丸山 * (18) 根室市牧の内 * (15) 根室市瑤瑤瑁 * (19) 中標津町養老牛 (08) 標津町北 2 条 * (11) 羅臼町岬町 * (10) 別海町常盤 (11) 別海町本別海 * (12) 根室市厚床 * (13)	43 ° 15.7 ' N	146 ° 37.5 ' E	66 k m	M4.5
根室地方	震度 2 震度 1					
網走・北見・紋別地方	震度 1	斜里町ウトロ香川 * (05)				
2024年10月25日 日高地方	21時22分 震度 1	浦河沖 新ひだか町静内山手町 (06) 新ひだか町三石旭町 * (07)	42 ° 02.3 ' N	142 ° 36.5 ' E	63 k m	M3.6
2024年10月27日 釧路地方	02時10分 震度 1	釧路沖 浜中町茶内 * (10)	42 ° 40.5 ' N	145 ° 22.2 ' E	24 k m	M3.6
2024年10月31日 根室地方	03時07分 震度 1	北海道東方沖 根室市瑤瑤瑁 * (07)	43 ° 17.0 ' N	147 ° 00.4 ' E	64 k m	M4.5
2024年10月31日 根室地方	22時12分 震度 1	根室半島南東沖 根室市瑤瑤瑁 * (11)	42 ° 47.0 ' N	146 ° 52.8 ' E	39 k m	M4.4

* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

() 内の数値は0.1単位の詳細な震度 (計測震度) の小数点を省略して表しています。

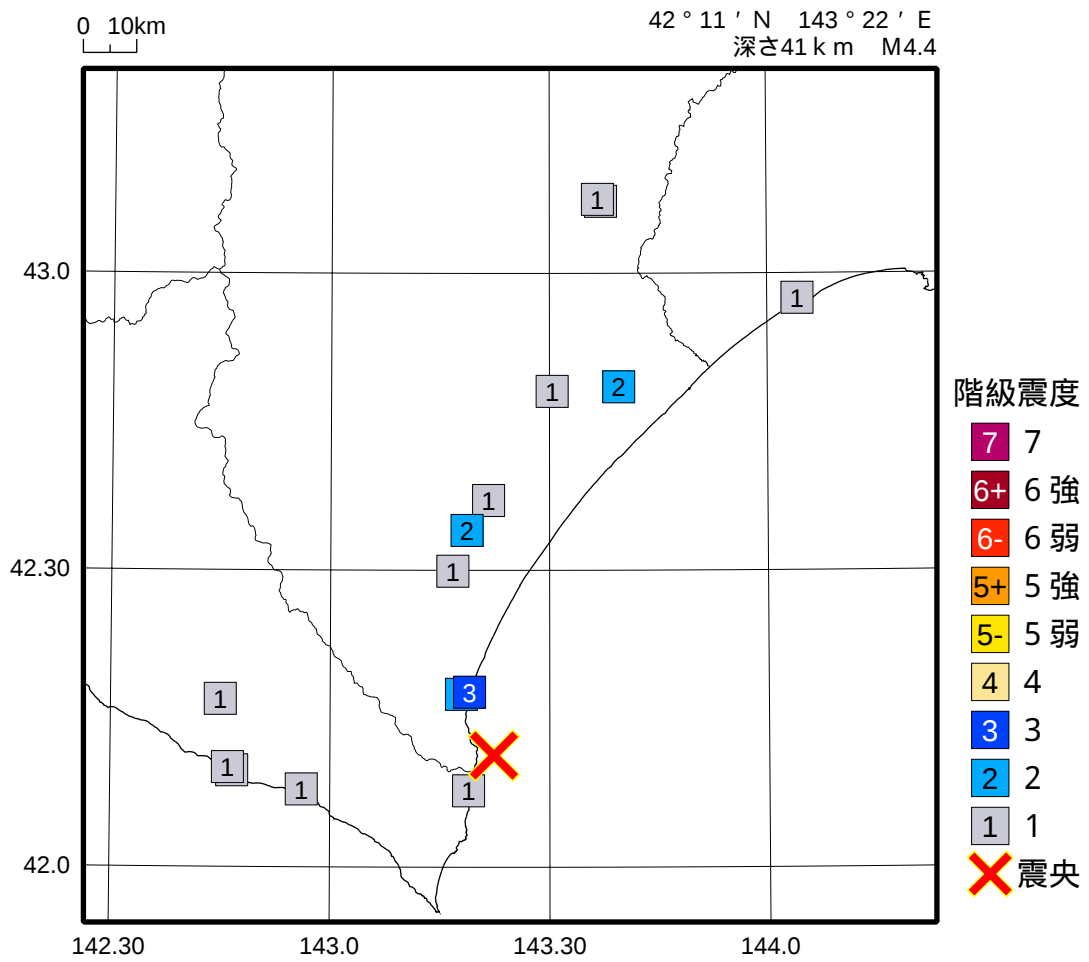
計測震度と震度階級の関係

計測震度	～0.4	0.5～1.4	1.5～2.4	2.5～3.4	3.5～4.4	4.5～4.9	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0～6.4	6.5～
震度階級	0	1	2	3	4	5 弱	5 強	6 弱	6 強	7

本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

2024年10月10日11時33分 十勝沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～陸域の浅い地震～

地球の表面は十数枚の巨大な板状の岩盤（プレート）で覆われており、それぞれ別々の方向に年間数cmの速度で移動しています。

日本列島周辺では、複数のプレートがぶつかり合うため、大きな力がかかり岩盤にひずみが蓄えられます（図1）。そのひずみが限界に達したとき岩盤が急速にずれ動きます。これが地震です。

地震は、海溝沿いでプレート境界や海のプレート内部で発生する「海溝型地震」のほか、陸域の浅い所でも発生します。この地震を「陸域の浅い地震」と呼びます（図2）。

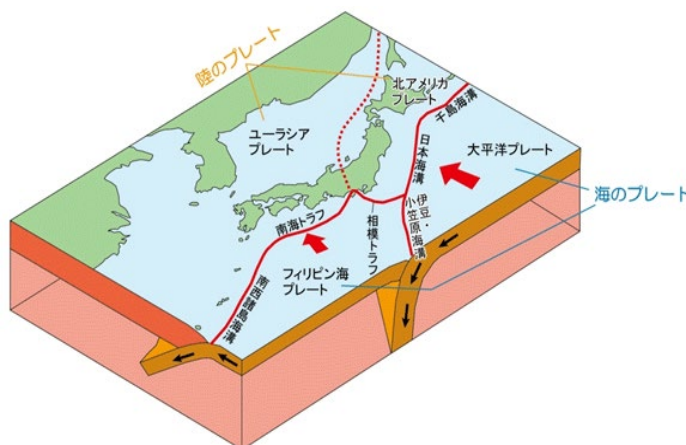


図1 日本列島周辺のプレート

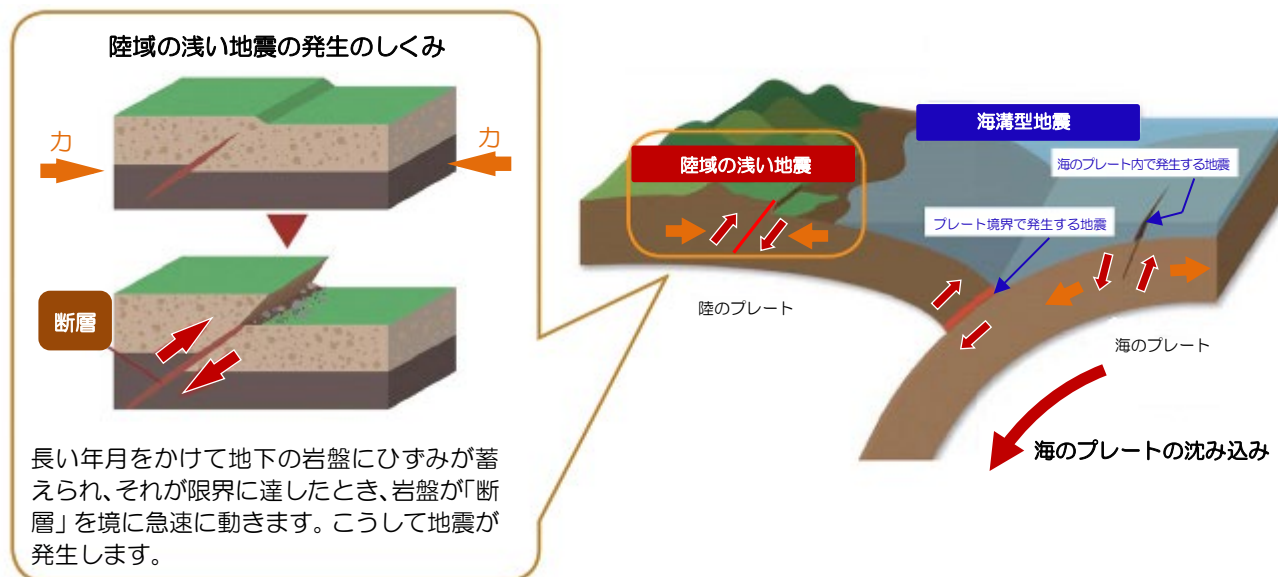


図2 日本列島周辺で発生する地震のタイプ

「陸域の浅い地震」は、地震の規模（マグニチュード）が比較的小さくても震源の直上では揺れが強くなるため、人の住む場所で発生すると局所的に大きな被害が生じる場合があります。

2018年（平成30年）9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」はマグニチュード6.7と、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」のマグニチュード9.0に比べて地震のエネルギーは2800分の1でしたが、最大震度は同じ7を観測しました。この強い揺れで、大規模な土砂崩れにより多くの人命が失われ、また、地盤の液状化による住家倒壊、北海道内のブラックアウト（全域停電）などの大きな被害が生じました。

地震はいつ起きるかわかりません。突然の揺れに備えて日頃から家具の固定や身の安全を図る行動の確認をしておきましょう。